

# VIII 忘れないで！歯科受診

がんの治療（化学療法や放射線療法）により免疫力が低下すると、人によっては口内炎や肺炎など様々な合併症を起こしやすくなります。

合併症の発生頻度が増加すると、状況により治療を中断しなければならないことがあります。そのため、お口の中の衛生状態など、合併症に影響を与える因子をがん治療をはじめる前に改善しておくことが大切です。あらかじめ主治医に相談し、ブラッシング指導や歯石除去、その他必要な処置を受けるために歯科を受診しましょう。

特に顔や首周りなどのがんでは、放射線治療により唾液腺（つばが作られるところ）が影響を受けます。そのため、唾液の分泌量が減り、お口が乾燥し、それに伴いむし歯や味覚異常が起こる他、カンジダ症などの感染症を発症したり、口腔粘膜に炎症を起こしやすい状態となります。

治療の影響によりお口の中が乾燥する場合には、口腔内用の保湿剤を使用したり、洗口液を使い刺激をやわらげるなど工夫をしましょう。

炎症や口内炎などにより、痛みが強いときには、歯磨き粉は使用せず、水やぬるま湯、ガーゼや柔らかい歯ブラシを使って、お口の中を清潔に保つようにしましょう。

がんの治療に伴う様々な症状やお口のことでお困りの事がある場合は、主治医、看護師、歯科医師、歯科衛生士等に相談してください。



# IX 緩和ケアとは

がんによって生じる様々な身体的苦痛や心のつらさに対処していくことは、がんと診断されたときから、がんを治す治療と同じように大切なことです。

緩和ケアとは、がんの治療時期にかかわらず、患者さんの体や心のつらさを和らげて、1人1人が自分らしく生活していくことができるよう支援していくという医療・ケアのあり方です。

## ▶ IX-1. 緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、がん治療を行っている主治医や病棟看護師と協力しながらがんのつらさへの対処を支援するチームです。がん治療の早い時期からのお手伝いもできます。

緩和ケアチームは体や心のつらさなどの治療のほか、患者さんの社会生活や家族の方のサポートを行うために、医師・看護師以外に薬剤師、理学療法士、作業療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種のメンバーが一緒に関わっていきます。

緩和ケアチームについて知りたい場合は、主治医や病棟看護師、がん相談支援センターに聞いてみてください。

## ▶ IX-2. 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、ホスピスと呼ばれることもあります。

緩和ケア(ホスピス)病棟は、がんに伴う体のつらい症状や苦しさ、心のつらさを和らげる治療・ケアを専門的に行う場所です。そして、患者さんとご家族がその人らしく過ごし、生活することができるよう支援していきます。

緩和ケア(ホスピス)病棟への入院条件や費用は、施設により異なりますので、各施設・がん相談支援センターへご相談ください。

## ▶ IX-3. 在宅緩和ケア

自宅は、住み慣れており、安心できる療養環境です。誰もができることなら自宅ずっと過ごしたいのではないでしょか。緩和ケア外来は通院をしながらの苦痛緩和を図り、在宅療養の質向上を応援します。また必要時には在宅医療チームと連携し、病院に通院するのではなく自宅で緩和ケアを受けられるよう支援します。

緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・緩和ケア外来を行っている医療機関

	病棟	チーム	外来
山梨県立中央病院	●	●	●
山梨大学医学部附属病院		●	●
富士吉田市立病院		●	●
山梨厚生病院		●	●



# X 在宅ケアとは

在宅医療は、住み慣れた自宅など、その人にふさわしい環境で気兼ねなく生活を送りながら医療を受けられるというメリットがあります。

## ▶ X-1. 訪問診療

訪問診療とは、医師が定期的に患者さんの自宅へ訪問し、診療などを行うサービスです。訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパーなどと連携を取りながら、24時間体制で、患者さんが安心して自宅療養が行なえるように支援しています。

また、急に熱が出たり、状態が悪くなった時など緊急時の対応も行なっています。  
訪問診療は、医療保険が適用されます。

**窓口** かかりつけ医院

## ▶ X-2. 訪問看護

訪問看護とは、自宅で療養生活を送るために、看護ケアを提供するためのサービスです。医師の指示のもと、訪問看護ステーションより訪問看護師が自宅を訪問し、必要な看護を提供します。

訪問看護は、医療保険または介護保険が適用されることがあります。

**窓口**

- ・病院(がん相談支援センター)
- ・かかりつけ医院
- ・ケアマネジャー



## がん相談支援センターに相談に来てください

### ▶ X-3. 介護保険制度

65歳以上の方、がん末期と診断された40歳から64歳の方でも、要支援・要介護の認定を受けた患者さんは、訪問介護やベッドや車いすなどの福祉用具の貸与、住宅改修などのサービスが受けられます。介護度に応じて利用サービス料の1割の自己負担で介護サービスを受けることができます。

**窓口** 各市町村の「地域包括支援センター」「介護保険担当課」

### ▶ X-4. 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、地域で生活するがん患者さんを介護、福祉、医療の様々な面から総合的に支援する機関です。地域包括支援センターには保健師、ケアマネジャー、社会福祉士があり、専門性を活かして業務にあたっています。介護保険の申請方法や、在宅生活などの相談窓口となっています。



**窓口** 各市町村の「地域包括支援センター」

# XI ピアサポート・がんサロンとは

## ▶ XI-1. ピアサポート

ピア(Peer)とは「仲間」という意味で、ピアサポートとは、同じような悩みあるいは経験を持つグループの中で、同じ仲間として対等な立場で行われる支援のことです。

仲間から支えられていると感じられる場にいることによって、お互いに支え合ったり、悩みの解決につながったりすることが期待されています。

がんにおけるピアサポートは、患者や家族の悩みや不安に対して、がん経験者が自分の経験を生かしながら相談や支援を行うといった形での取り組みです。



■山梨県立中央病院 第2、4金曜日 10:00~13:00

予約制 がん相談支援センター

☎055-254-7851(直通)

■山梨厚生病院 第2・4 水曜日 電話での対応のみ

①10時 ②11時 2枠／日

要予約 乳腺外科外来

☎0553-23-1311

## ▶ XI-2. がんサロン

富士吉田市立病院では、がんサロン「ふじさんサロン」を開設しています。

がん体験者・ご家族様がお互いの悩みが解決に向かうよう、支え合いの場として幅広い問題を語り合える場です。がんの種類は問いません。



■富士吉田市立病院 每月第4月曜日 10:00~12:00

予約不要 がん相談支援センター

☎0555-22-4111代

# XII がん患者さんの就労について

がんと診断されたからといってすぐに退職を決めるのではなく、会社の就業規則を確認したり、会社の人事関係の担当者に相談、あるいは、がん相談支援センターに相談などしてみましょう。

## ▶ XII-1. 仕事を続けるためには

がんの治療を受けながら仕事を続けている方や 新たに就職を考えている方の多くは、病気のこと、仕事内容、上司や同僚との関係、治療費や収入のこと、通院のこと、休暇のことなど不安をお持ちかもしれません。

まずは職場の休職制度などを活用し、一人で抱え込まずにがん相談支援センターに相談しましょう。

## ▶ XII-2. 主治医に相談する

就労(復職)できるか、仕事の内容や勤務時間、勤務日数などの勤務条件について具体的に主治医に聞きましょう。また、今後の治療スケジュールや治療費、入院の必要性、考えられる副作用、日常生活上の注意などについて聞いておきましょう。

## ▶ XII-3. 職場の理解を得る

職場では、上司や人事担当者、産業医や保健師等に相談し、治療継続、就労継続に向けた理解・支援を得ましょう。

## ▶ XII-4. 医療機関での相談

入院、通院している医療機関の主治医、看護師や相談部門、がん相談支援センターなどで相談することもできます。がん相談支援センターなどでは主に看護師や医療ソーシャルワーカー等が、身体のことを踏まえて、仕事との両立について相談に応じてくれます。相談の内容に応じて、主治医との情報交換や職場との調整などを、患者さんのご家族と一緒に進める場合もあります。

## ▶ XII-5. 仕事ができなくなった、 仕事をやめたい、やめるときは

就労できなくなった場合、仕事をやめる場合、やめなければならない場合など経済的な課題がまず思い浮かぶことと思います。健康保険や年金など公的な制度による経済的支援が受けられる場合があります。担当窓口(年金:年金事務所・市町村役場)(健康保険:保険者)に相談してみましょう。

## ▶ XII-6. ハローワーク甲府・ハローワーク富士吉田 による就労支援のご紹介

山梨県立中央病院、富士吉田市立病院では、ハローワーク甲府・ハローワーク富士吉田の就職支援ナビゲーターによる長期療養が必要とされる患者さんの就労相談を行っています。

■山梨県立中央病院 第1、3木曜日 10:00~15:00

予約制 がん相談支援センター

☎055-254-7851(直通)

■富士吉田市立病院 第2月曜日 13:00~15:00

第4月曜日 10:00~12:00

予約制 がん相談支援センター

☎0555-22-4111(代)

## ► XII-7. 山梨産業保健総合支援センターによる 両立支援のご紹介

山梨大学医学部附属病院、山梨県立中央病院では、山梨産業保健総合支援センターの両立支援促進員が治療を受けながら仕事を続けていくための相談に応じます。



### ■山梨大学医学部附属病院

随時予約を受付

医療福祉支援センター・がん相談支援センター

☎055-273-8093

### ■山梨県立中央病院 隨時予約受付

がん相談支援センター

☎055-254-7851(直通)

## Memo

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

身近な相談窓口や  
療養生活に役立つ  
情報のご紹介です。

## 問い合わせ先

### 山梨県がん診療連携拠点病院 連絡協議会事務局

山梨県立中央病院

山梨県甲府市富士見1丁目1-1

TEL.055-254-7851

発行日：令和5年3月（第10版）

●コキアの花言葉の中には、「私はあなたに打ち明けます」という意味もあるそうです